

資料１．研修到達度の指標となる症例経験

「小児科医の到達目標」平成14年2月1日改訂（日本小児科学会雑誌Vol.106, No.8, 1064-1096, 平成14年）
に準拠して、各分野の中から経験の目安となる疾患名を列記した。
各疾患についての到達度の目安は、「小児科医の到達目標」を参照されたい。
ここに挙げた疾患は、経験すべき疾患の一部であり、その他経験すべき多くの重要疾患
があることを留意されたい。

分野	疾患名	補足説明	A. 自ら主治医として治療した	B. 指導医と共に治療に参加した	C. 自ら診断し、専門家に紹介した	D. 他の医師の診療を見た
新生児	極低出生体重児					
	呼吸窮迫症候群					
	胎便吸引症候群					
	仮死					
	新生児黄疸（交換輸血）					
先天異常	常染色体異常	新生児期と小児期と双方の時期で経験する事が望ましい				
	性染色体異常					
	先天奇形症候群					
先天代謝異常症・代謝性疾患	先天代謝異常症	各疾患名は、「到達目標」参照				
内分泌	下垂体性疾患					
	状腺機能亢進症及び低下症					
	症候性肥満					
	性成熟異常					
	糖尿病					
生体防御・免疫	原発性免疫不全症					
	血球貪食症候群					
膠原病・リウマチ性疾患	若年性特発性関節炎	新規診断・経過中の増悪に対する治療経験を含む				
	全身性エリテマトーデス					
	その他の膠原病					
	川崎病					
アレルギー	アナフィラキシー					
	気管支喘息重積発作	イソプロ持続吸入以上				
	食物アレルギー	経口負荷試験				
感染症	敗血症					
	細菌性髄膜炎					
	麻疹					
	肺結核	化学予防は除く				
呼吸器	感染症以外の肺疾患					
	気道異物					
	クループ・細気管支炎					
	気胸・縦隔気腫					

消化器	腸重積					
	肥厚性幽門狭窄症					
	腸回転異常症					
	炎症性腸疾患					
循環器	先天性心疾患					
	不整脈					
	心不全					
血液	貧血	鉄欠乏性・未熟児を除く				
	血小板減少性紫斑病					
	好中球減少症					
	血友病					
	D I C					
腫瘍	白血病					
	脳腫瘍					
	固形腫瘍					
腎・泌尿器	急性糸球体腎炎					
	慢性糸球体腎炎					
	原発性ネフローゼ症候群					
	紫斑病性腎炎					
	腎・尿路奇形					
	腎不全（急性・慢性）					
生殖器		略（8. 内分泌参照）				
神経、筋疾患	てんかん					
	急性脳症					
	もやもや病					
	脳性麻痺					
	傍感染性疾患	重症筋無力症、ADEMなど				
	フロッピーインファント					
精神疾患・心身医学	自閉症	広汎性発達障害を含む				
	LD/ADHD					
	被虐待児					
救急	CPA					